



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月2日

上場会社名 ダイワボウホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3107 URL <https://www.daiwabo-holdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 幸浩

問合せ先責任者 (役職名) 財務管理室長 (氏名) 花岡 博之

TEL 06-7739-7300

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	227,844	8.8	4,274	△13.4	4,528	△10.2	3,079	△10.6
2024年3月期第1四半期	209,337	12.9	4,938	13.4	5,044	11.1	3,442	9.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,781百万円 (△25.5%) 2024年3月期第1四半期 5,077百万円 (38.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	33.06	—
2024年3月期第1四半期	36.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	375,585	140,445	37.3
2024年3月期	405,256	142,133	35.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 140,277百万円 2024年3月期 141,933百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	475,500	6.6	13,020	1.8	13,220	2.2	9,100	6.7	97.69
通期	1,012,350	4.6	31,100	0.4	31,500	0.2	21,800	409.0	234.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2024年8月2日）公表しました「第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	96,356,460株	2024年3月期	96,356,460株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,798,154株	2024年3月期	2,890,097株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	93,151,316株	2024年3月期1Q	93,463,876株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2025年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2024年8月2日)公表しました「第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要などにより景気は緩やかな回復を見せる一方、世界情勢の不安定化、資源・エネルギー価格の高止まり、円安に伴う物価の上昇基調など先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の対象期間を「事業ポートフォリオ変革による躍進期」と位置づけ、グループ基本方針として「ホールディングス体制での成長」「過去最高“へのチャレンジ”」「ステークホルダーエンゲージメントの向上」を掲げ、中長期ビジョンである『2030 VISION』の実現における重要な挑戦期間として引き続き企業価値の向上に取り組んでおります。

また、2024年3月に大和紡績株式会社の発行済株式の85.0%を譲渡したため、繊維事業は前連結会計年度末をもって連結の範囲から除外しており、当期の経営成績に繊維事業は含まれておりません。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は227,844百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は4,274百万円（前年同期比13.4%減）、経常利益は4,528百万円（前年同期比10.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,079百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (ITインフラ流通事業)

2025年10月に予定されるWindows10のサポート終了や、当期から本格化するGIGAスクール端末のリプレイス需要を見越した推進活動と販売体制の整備に力を入れ、特にPCやタブレットなどのデバイス製品を中心に、周辺機器やサービス&サポートの付加価値提案・複合提案を推進しました。また、重点的に取り組んでいる「iKAZUCHI（雷）」の提案強化により、クラウドサービスの需要を獲得したことでサブスクリプションビジネスが好調に推移しています。企業向けにおいては、情報通信業、製造業を中心に需要が拡大し、官公庁向けにおいても大型のIT投資案件を受注し、売上が拡大しましたが、利益率は複数の大型案件での競争激化により一時的に低下しました。文教向け市場においては、GIGAスクール第2期の準備期間となり、販売実績は前年を下回りましたが、全国的な受注獲得に向けた提案活動を強化しています。

以上の結果、当事業の売上高は226,058百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益は4,358百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

#### (産業機械事業)

工作機械部門では、国内の受注環境としては、造船等一部好況な業界があるものの、主力の航空機、鉄道業界等の受注回復は第2四半期以降となる見込みですが、海外については米国向け市場での引き合いが増加傾向にあり、全体としての受注は増加しました。一方で売上高については、第2四半期以降に出荷が集中することもあり前年を下回りました。自動機械部門では受注高・売上高ともに前年を上回りましたが、原価高騰にて利益面では苦戦しました。

以上の結果、当事業の売上高は1,786百万円（前年同期比18.2%減）、営業損失は87百万円（前年同期は137百万円の営業利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べて29,671百万円減少し375,585百万円となりました。また、負債は、支払手形及び買掛金の減少等により前連結会計年度末に比べて27,983百万円減少し235,139百万円となり、純資産は、自己株式の取得等により前連結会計年度末に比べて1,687百万円減少し140,445百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2024年8月2日）公表しました「第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,372	53,654
受取手形	3,251	3,242
売掛金	233,054	199,197
電子記録債権	20,740	25,358
商品及び製品	33,413	48,979
仕掛品	2,804	3,439
原材料及び貯蔵品	233	231
その他	14,411	13,994
貸倒引当金	△36	△33
流動資産合計	377,245	348,064
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,253	4,253
その他(純額)	5,985	5,838
有形固定資産合計	10,238	10,092
無形固定資産		
のれん	1,351	1,314
顧客関連資産	1,044	1,015
その他	1,295	1,197
無形固定資産合計	3,691	3,526
投資その他の資産		
その他	14,133	13,954
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	14,081	13,901
固定資産合計	28,011	27,520
資産合計	405,256	375,585

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	206,212	184,412
短期借入金	8,400	8,200
未払法人税等	4,438	1,113
賞与引当金	2,236	1,207
その他の引当金	310	141
その他	18,145	16,943
流動負債合計	239,742	212,018
固定負債		
長期借入金	12,500	12,500
役員株式給付引当金	119	137
退職給付に係る負債	5,310	5,030
その他	5,450	5,452
固定負債合計	23,380	23,121
負債合計	263,123	235,139
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	21,696	21,696
資本剰余金	7,954	7,954
利益剰余金	115,226	115,367
自己株式	△5,133	△7,582
株主資本合計	139,744	137,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,038	3,319
繰延ヘッジ損益	52	273
為替換算調整勘定	260	308
退職給付に係る調整累計額	△1,161	△1,060
その他の包括利益累計額合計	2,189	2,841
非支配株主持分	199	167
純資産合計	142,133	140,445
負債純資産合計	405,256	375,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	209,337	227,844
売上原価	192,628	213,085
売上総利益	16,709	14,759
販売費及び一般管理費	11,771	10,484
営業利益	4,938	4,274
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	92	173
販売支援金	99	83
その他	75	142
営業外収益合計	272	400
営業外費用		
支払利息	33	25
金融手数料	8	8
退職給付制度改定損	52	—
持分法による投資損失	8	—
その他	63	111
営業外費用合計	165	145
経常利益	5,044	4,528
特別損失		
関係会社株式評価損	23	—
その他	1	1
特別損失合計	25	1
税金等調整前四半期純利益	5,019	4,527
法人税、住民税及び事業税	919	1,070
法人税等調整額	644	378
法人税等合計	1,563	1,448
四半期純利益	3,455	3,078
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,442	3,079

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,455	3,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	509	281
繰延ヘッジ損益	904	221
為替換算調整勘定	△32	98
退職給付に係る調整額	200	101
持分法適用会社に対する持分相当額	39	—
その他の包括利益合計	1,621	702
四半期包括利益	5,077	3,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,060	3,731
非支配株主に係る四半期包括利益	16	49



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式913,800株の取得を行いました。この取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,449百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が7,582百万円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,057百万円	447百万円
のれんの償却額	37	37

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	繊維事業	産業機械 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	192,592	14,417	2,182	209,192	144	209,337	—	209,337
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	25	3	—	29	53	82	△82	—
計	192,618	14,421	2,182	209,222	198	209,420	△82	209,337
セグメント利益	4,538	224	137	4,900	20	4,920	18	4,938

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITイン フラ流通 事業	産業機械 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	226,058	1,786	227,844	—	227,844
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17	—	17	△17	—
計	226,076	1,786	227,862	△17	227,844
セグメント利益 又は損失(△)	4,358	△87	4,271	2	4,274

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、当社の連結子会社であった大和紡績株式会社の株式譲渡を行い、連結の範囲から除外しました。これにより、当第1四半期連結会計期間から、「繊維事業」の報告セグメントと「その他」の区分を廃止しております。なお、「その他」には保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおりました。